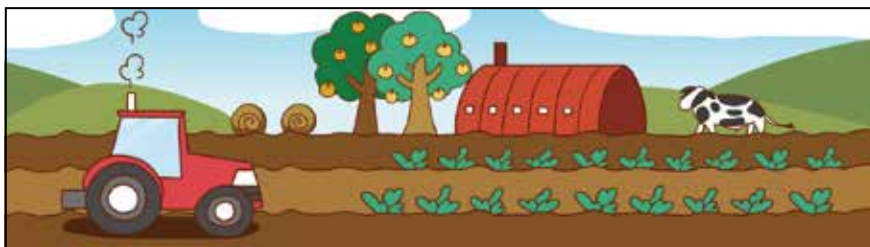


No.135
広報やちよ女性版

公募して選ばれた編集委員が
企画・構成・編集するページです
編集委員 関口 理子/夏戸 夕起

子どもの食をみんなで考えよう 農家から学ぶ食育ふれあい授業



皆さんが普段から口にしている農産物がどのように育てられているか知っていますか。市では、食を通じた健康づくりのために、市内の農産物をテーマに食育の授業を行い、「やちよ食育マガジン」を発行しています。小学校でこの食育の授業に注目し、私たちが選んだ3つのテーマ「梨」「酪農」「ニンジン」の授業に参加しました。

市民・教員・市職員が連携して 子どもの食を通じた健康づくり

食育の授業は、17年度から実施している「エコニンジンウィーク」を発展させたもの。子どもたちが食べ物を大切にすることを身に付け、健全な心身を育むことを目的にやちよ食育ネットワーク協議会が行っています。

同協議会は、市民、教員、市職員で組織され、子どもの食を通じた健康づくりを推進するため、「学校での食育を推進するための学習会」を開催し、広報紙「やちよ食育マガジン」

を発行しています。

今年度は、「ニンジン」「ねぎ」「ほうれん草」「梨」「酪農」の5つをテーマに、市内11校の小学3年生を対象に実施しました。

授業には、給食センターの栄養士も参加し、農作物の栄養素やその作物を食べたときの効果などを説明。また、生産者の顔が見える、地元で穫れた安心安全な農産物を地元で消費する地産地消の大切さを説明しました。

授業は、教科書に載っていないことにも、穫れた農作物、写真や道具を使って、理解しやすいように工夫されていました。



「おいしい梨をみんなに届けたい」 梨農家 網島祐介さん

梨は1個あたり約250gで、ほとんどが食物繊維できています。シャリシャリした食感のあるリグニンが腸内環境を整えてくれます。梨の糖分には、ソルビートという成分が含まれ、便をやわらかくする効果があります。一日に果物を200gくらい食べるとお通じに良いそうです。

10月24日、米本南小学校で「梨」をテーマに授業が行われました。梨農家の「つなちゃん先生」こと網島さんが、クイズを交えながら写真や道具を使って、梨ができるまでを説明しました。最初に、梨の花の4択パネルクイズ。子どもたちからは「ネギ」「オクラ」「とうもろこし」など、さまざまな答えが出ました。収穫に使うハサミやのこぎりを備えた腰ベルトを巻いて見せると、子どもたちから大きな歓声が上がりました。授業の最後に梨の木の枝が配られ、「梨の血管はどこ」の質問に、触ったり、眺めたりする子どもたち。班ごとにいろいろな回答が出ました。初めて見るものや聞くことに関心をもち、素直に元気よく質問に答える子どもたちの姿が見られました。



▲梨の枝の血管の場所を班で相談して発表しました

梨ができるまで

梨の収穫は年に一度です。梨園ではそれぞれ地域の気候に合った品種を育てています。異なる種類の木を受粉させて実をつけるため、さまざまな種類の木をバランス良く植えて工夫しています。梨の木は、りんごの木と違い、木を金属の棚が支えているので、台風などで被害を受けることは少ないそうです。

4月になると白い花が咲きます。花びらの中心部から専用の受粉機を使って、花粉を採取し、別の花に受粉させます。2週間ほどで約2,000本の木に行う必要があり、花粉は雨などの液体に弱いので、受粉は晴れた日にしかできないので大忙しです。5月に緑色の実がなり始め、6月からは、複数の実の中から1つに絞る「摘果」を行います。7月には、実が黄土色になり、日焼けや虫から実を守るため、葉まきと袋がけを行います。8月～10月頃に品種ごとに収穫が始まります。収穫が終わり、3月までは、梨の木よりも高く伸び過ぎた枝を切る「剪定」を行います。



日焼けや虫から守るためにかぶせます

Q&A

網島さんにインタビュー

Q 梨の種類はどれくらいあるの？

30品種程度で毎年違う品種を育てています。収穫できるまで、最短で4年くらい、最長10年です。木の寿命は30年ほどで、実ができなくなったり、病気にかかりやすくなったりします。

Q 梨の味に違いがあるのはなぜ？

肥料によって味に違いが出ます。最近では、牛糞のほか、魚の骨、貝殻、米の籾殻などが使われるようになりました。

Q 梨の木は何本くらい育てているの？

昔は800本程度、現在は2000本程度。昔は1つの木からたくさん収穫していましたが、木の負担を減らすため、多くの木から実を少しずつ収穫するようにしています。

Q 梨園を営んでいて楽しいことは？

直売所でお客さんから生の声が聞けることです。毎年、お客さんに会えるのを楽しみにおいしい梨を作れるよう努力しています。



▲枝が伸び過ぎないように紐で固定します